

## 死語、昭和の言葉

死語 ... 古く使用され、現在は全く使用されなくなった単語 (『広辞苑』)

### チヨフキ

袖なしの短い胴着。ベスト。オランダ語の jak、ポルトガル語の jaqueta、英語の jack、または直着(ちよくぎ)の転訛した語、等と多くの語源説がある。1868年(明治元)ごろに定着し、1960年代から70年代にかけてほとんど一般的には使われなくなり、ベストという呼び方が普通になった、と百科事典にある。

### ちり紙(ちりがみ、ちりし)

和紙の一種。昭和の後半までティッシュペーパー・トイレットペーパーの役目をしてきた。小学校では持ち物検査の項目に「ハンカチとちり紙」があって、必携品だった。「ちり紙交換車」が廻ってきて、要らない紙と交換してくれた。



### ズック

オランダ語の doek(粗い麻織物)から。太い麻糸または綿糸で平織りにした厚地の織物。帆布、テント、リュックサック、カバン、靴などに使われたが、特に「ズック靴」(=ズックで作ったゴム底の運動靴)の略。

### お転婆(おてんば、「転婆」は当て字)

若い女性が、つつしみなく活発に行動すること。また、そのような女性自身。オランダ語の ontelbaar(オンテンパール=馴らせない、負けん気がある)から、また、もともと「てんば」という言葉があり、接頭辞「お」がついた、などの語源説がある。



### 半ドン

午後が休みである日。また、土曜日。「半」は半分、「ドン」はオランダ語の Zondag(ゾンターク=日曜日、休日)がドンタクとなったことから。1980年代頃まで官公庁・企業・学校は半ドンだったが、その後週休二日制が導入された。

### えもんかけ

衣服の肩・袖を通してつるしておくための用具。ハンガーのことだが、特に和服用のハンガー(木製で横棒の長さが長い)を指す場合がある。また、別のもので衣桁(いこう)。着物を掛けておくために用いる、鳥居のような形をした家具)のことを言うこともある。

### ハイカラ

西洋風を気どったり、流行を追ったりすること。また、その人。洋風でしゃべっていること。明治時代、洋行帰りの議員などが丈の高いカラー(えり。high collar)を着用していたのをからかった語が一般化した。

### アベック

一組の男女。フランス語の avec(=「と一緒に」、英語の withと同じ)から。和製フランス語。今は、「カップル」と言う。ネットによると、カップルもちょっと古い言い方で、最近では「リア充」なんて言うよう。現実の世界(リアル)が充実している=彼氏・彼女がいる、ということらしい。

### トックリ

「とっくり襟」の略。タートルネック。「若い人の前でトックリセーターと言って大笑いされました」と YAHOO! JAPAN 知恵袋にあったが、言いそう。「コーデウロイをコール天と言って大笑いされた」との人もいた。

## 八月歳時記 二十四節気 七十二候

- 7日(火) 立秋 暦の上では秋、ここからの暑さは残暑
- 【涼風至】「すずかぜ、いたる」…… 強い日差しに、時折涼しい風が
- 【寒蟬鳴】「ひぐらし、なく」…… 夏の終わりを告げる蟬の声
- 【蒙雨升降】「ふかききり、まとう」…… ひんやりとした深い霧が立ちこめる
- 23日(木) 処暑 「処」は止まる、留まる意
- 【綿柵開】「わたのはなしべ、ひらく」… 柵(はなしべ=おしべ・めしべの総称)が開き、綿毛がのぞく
- 【天地始肅】「てんち、はじめてさむし」… 朝夕にほんの少し、秋の気配が
- 【禾乃登】「こくのもの、すなわちみのる」… 稲刈りが始まるころも

